

風しんの流行状況報告

国立感染症研究所によると2018年第1週から45週の風疹患者累積報告数は2032人となったとのことで、先月ICTニュースでお知らせした報告者数より800人弱増加しています。2008年の前週届出開始以降3番目に多い数字で、去年1年間の22倍となっています。現在までに先天性風疹症候群の報告は無いとのことです。地域別には東京都が716人と突出して多くなっています(2番目は千葉県の294人)。

現在、東京都の各区市町村で妊娠を希望又は予定している女性とその同居者で抗体価が不明な場合には抗体価検査や予防接種を無料または一部自己負担で実施できる制度を設けています。さらに厚生労働省では現在行っている抗体価検査の助成範囲の拡大や予防接種の推進方策について検討中とのことで、いままで抗体価検査や予防接種の対象から外れていた30～50代の男性にも範囲が拡大されることが期待されます。新しい情報が入り次第、ICTより情報を発信する予定です。

各区市町村における抗体検査、予防接種の実施状況等については、都のホームページで情報提供していますので、対象となっている方はご確認されることをお勧めします。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/measles-rubella/fuushin_koutai.html

東京都における年別風疹患者報告数推移(10年)

